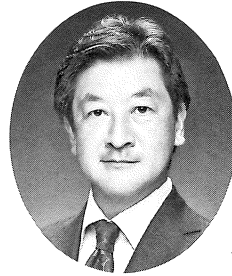




出版クラブ会報 No.603



巣ごもり生活は

本と向き合うチャンス

日本出版クラブ会長

野間省伸

(のま・よしのぶ)

あけましておめでとうござい
います。
外出も、人と会う事も憚ら
れるなか、日本出版クラブの
活動も大幅な変更を余儀なく
されております。そんな重苦
しい雰囲気の中、一筋の光
明が射したのは、オンライン
セミナーが高い評価を受けた
ことでした。

昨年9月19日に「洋書の森
セミナー 文芸翻訳・字幕翻
訳くふたつの顔をもつ物語を
めぐって」というタイトルで
文芸翻訳家と字幕翻訳家を講
師に迎えてオンライン対談を
開催しました。

パネラーのひとりには、酒寄
進一さん。ドイツの人気作家・
フェルディナント・フォン・
シーラッハ著のミステリー小
説「コリーニ事件」(東京創元
社)の翻訳家です。もうひと

りは同作の映画化に当たり、
字幕翻訳を担当された吉川美
奈子さんです。原作の文芸翻
訳家と字幕翻訳家の「翻訳対
決」は意外と実施されたこと
がない好企画。緊張感にあふ
れ、見どころ満載のイベント
となり、日本国内の参加はも
とより、ドイツ・イタリア・
フランス・アメリカ・アルゼ
ンチンなど海外からのアクセ
スもあり140名を超える参
加者で大盛況となりました。

コロナがなければ今回のよ
うなオンライン企画は生まれ
なかったかもしれません。何
事も前向きに取り組むことが
大切だと改めて感じしていま
す。

さて、ここから昨年の日本
出版クラブの事業を時系列に
沿ってふり返ってみたいと思

います。毎年恒例、「出版関
係名刺交換会」は2020年
1月8日に開催されました
(今年は感染症防止のため中
止)。参加者は、日本書籍出
版協会・相賀昌宏理事長(当
時)、日本雑誌協会・鹿谷史
明理事長(当時)、日本出版
取次協会・近藤敏貴会長(当
時)、日本書店商業組合連合
会・矢幡秀治会長、そして日
本出版クラブ会長である私、
野間省伸。約450名の方々
にご参加いただき、2020
年の幕が華やかに切って落
されました。

5年目を迎えた「出版業界
連続学生セミナー」が開催さ
れたのは2月22日のこととし
た。「就活キックオフセミナ
ー」と銘打ち、出版業界の就
活状況や採用傾向の変化など
を中心に講演を開催し、盛況

主な記事

- ▽2021年 新年名刺交換会団体代表ご挨拶……………一〇五
- 野間 省伸・小野寺 優・堀内 丸恵・平林 彰・矢幡 秀治
- ▽新春紙上名刺交換……………六〇・七
- ▽神保町と私(第9回)……………一七八
- 「三崎稲荷神社」山崎 充彦さん……………一七八
- ▽「出版歳時記」当たるも八卦当たらぬも八卦……………一七八

のうちに終えました。日本出
版クラブ主催のリアルイベン
トが開催されたのはこれが最
後。「出版業界連続学生セミ
ナー」もこれ以降は中止とな
りました。

この後、新型コロナウイルス
感染拡大の勢いが増し、5
月8日の「第59回 全出版人
大会」も中止となり、更に10
月2日の「出版平和堂 第52
回 出版功労者顕彰会」も中
止となりました。出版クラブ
が主催する大きなイベントが
連続して中止となることは前
例のない事で、残念でなりま
せん。ただし、10月16日には
新顕彰者4名の方々の記録板
設置が無事に済みしました。そ
の際には出版クラブ職員とと
もに大坪嘉春出版平和堂委員
会委員長と筑紫恒男副委員長
のお二方に現地まで足を運ん
でいただいたとの報告を受け
ています。大坪さん、筑紫さ
んには感謝申し上げます。

11月28日には夏目大氏を講
師に迎え、オンラインセミナー
の第2弾「洋書の森ウイ
クエンドスキルアップ講座」を
一人の訳者ができるまで」を
開催しました。海外から10名
の参加者も含めて135名の
方々にご参加いただきました

た。参加者たちからは「遠隔
地からでも気軽に参加でき
る」、「パソコンのモニター画
面が、とても見やすかった」
「講師が身近に感じられた」
など、概ね好意的な評価をい
ただきました。

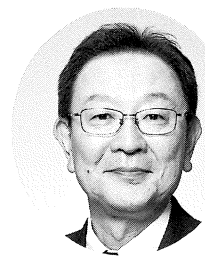
それは、会館の営業状況
をご報告致します。2020
年4月〜9月の上期の会議利
用件数は対前年比42・7%、
利用者数は17・8%で、4月
1日〜9月30日の会館事業収
入は対前年比で13・8%と惨
憺たる数字です。しかしなが
ら、これまで取り組んできた
運営改革が功を奏し、黒字決
算となりました。

また、現在進行中の「第68
回読書のめぐみ運動」には94
社から約1万9000冊の寄
贈図書をいただいております
(参加社は2社増、冊数は約
5000冊増)。更に、本号
新年広告も107社からお申
込みをいただきました。

新型コロナウイルス感染拡大の最
中、皆様のご厚誼には大変、
感謝しております。
この場をお借りしまして厚
く御礼申し上げます。

このような「巣ごもり生活」
のなか、読書の楽しさが見直
されて、本と改めて向き合う
人が増えていくようです。本
や新聞を読んでいる人を見か
けることが明らかに増えてま
した。本の必要性を改めて考
える一年にしましょう。

本年も、何卒よろしくお願
い申し上げます。
(講談社社長)



日本出版取次協会会長の挨拶

明けましておめでとうござい... 旧年中は大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

昨年2020年は、新型コロナウィルスと、それに端を発する出口の見えない不安に、社会全体が覆われた年でありました。出版業界もまた、雑誌を中心とした発売中止・延期、書店の休業、ブックイベントの中止など、数々の異例の事態に見舞われました。しかし、そのような中であ...

改革のスピードを上げ、出版流通を守り、人を守る

平林 彰 (ひらばやし・あきら)

す。こうした事態を前にして、改めて、出版流通の重要性を痛感せずにはいられません。また、これは本に限ったことではありませんが、お店やインターネットで、欲しい商品やサービスをいつでも買えることのありがたさを、身に染みて感じた方も多かったのではないのでしょうか。本でいえば、印刷から仕分け・梱包・輸送、そして販売まで、さまざまな工程に従事する方々がいてこそ、私たちはそれを手にすることが出来ます。そうした、いわゆるエッセンシャルワーカーの方々の命や健康をしっかりと守りながら、同時に、きめ細やかな流通体制も維持しなければなりません。それが、アフターコロナと呼ばれるであろう2021年に、私たちが取り組まねばならないことだと考えています。

加えて、市場そのものが縮小し、流通する本の物量が減少し続けています。物流業界全体の危機と、出版業界特有の課題、この二重構造の問題によって、流通効率が大きく悪化し、出版流通は崩壊の危機に瀕しているということだと思います。その現状を打破するためには思い切った改革が必要であり、取次協会として、二つの方向で対策を打ち出しています。

一つは、先ほどの「エッセンシャルワーカーを守る」ということにもつながる「働き方改革」です。特にトラックドライバーの労働環境の改善は急務であり、書店・出版社とも連携のもと、休配日増設・業量平準化、着荷指定時刻の緩和などを実現させなければなりません。休配日であれば、トラックドライバーがいっぱい、とトラックドライバーがしっかりと休日を確保できるように、流通センター自体の稼働日を週5日以内にするなど、より現場の実感値を高められる方向にシフトしていきます。もう一つは「サプライチェーンの再構築」です。これは、出版流通における「前工程」にあたる印刷・製本と、「後工程」にあたる輸送とが、互いに効率的に機能するよう構築し直していく、ということだと思います。さらに、他業界でも積極的に入り入れられている協業という手法を、取次としても推進することで、将来的に持続可能な出版流通網の再構築を目指します。また近刊情報の登録を引き続き促進します。2020年3月にスタートした「BOOK PRO」は、市場に求められている本を書店自ら発注する、マーケットイン型の流通への転換につながるはずだと思います。加えて、流通に必要な情報を充実させることで、サプライチェーン全体の効率化も期待できます。

よく言われるように、改革には痛みが伴います。しかし、出版流通と、それに携わるすべての人を守るために、痛みを恐れることなく、さらなるスピード感をもって改革に取り組んでいくことを、取次協会会長としての2021年の抱負といたします。コロナ禍の重苦しい空気の中、困難を乗り越えようとする力を、私たちがまた、一つひとつの壁を乗り越えていこうと思います。(日販グループホールディングス社長)

受賞祝賀会

受賞の榮譽に輝く喜びを祝賀する集いに、出版クラブホールを。

★ご案内の作成、印刷、宛名書き、贈呈記念品、花束など、お手伝いのむきもお申しつけ下さい



出版記念会

喜びを分かち合える出版人のホールでお祝いの会を。

★会報「出版クラブだより」にてご紹介して、祝賀申し上げます。

●ご予約・お問い合わせ 出版クラブホール Tel 03(5577)1511 千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル

震災・コロナのWパンチに負けない!!

伊東 孝

東日本大震災から十年。陸前高田も復興最終年度を迎え復興整備も最終版。中心地での再建店舗も増え、賑わいが戻ってきた昨年、コロナという目に見えない災害に見舞われ再び苦難の道強いられた一年となりました。本年はコロナと向き合いながらウィズ・アフターコロナ社会を見据え今だからこそ必要とされる本屋として、感染症と商売の両立を目指し地域の方々の繋がりを基本とし地域唯一の書店としての役割を果たしていく想いを強くしています。(山十・伊東文具店代表取締役)

日本文化の発展に寄与する

納屋 嘉人

文化庁の京都移転について、いよいよ明るく二〇二二年の八月をめどに新庁舎に移ることで国と京都府、京都市が合意しました。すでに京都移転に向けての先行組織「地域文化創生本部」には、弊社からも事務局に社員を出向させ、文化による地方創生の実現に努力を重ねております。京都から日本文化を発信する淡交社にとりまして、文化庁の京都移転の意義は大きく、今後も日本文化の発展に寄与して参りたいと存じております。(淡交社代表取締役社長)

年頭所感

常田 寛

新年あけましておめでとうござい... 昨年は今までに経験したことのない、コロナ禍に見舞われた一年でした。こんな閉塞状況の中ですが、人々はこれに負けず元気を取り戻しつつあります。登校する子供たちの笑顔を見ると、私たちも自然と力が湧いてきます。今年は、いよいよデジタルの波が本格的に押し寄せてきます。導入に反対ではありませんが、自分自身を見失わず上手に使いこなし、さらなる成長が出来るように真剣に考えたいと思います。人と人とのコミュニケーションをいっそう深めていく年にしたいです。明るい年でありますように。(光村図書出版特別顧問)

年頭所感

岡本 功

ハツとした。刷り上がったばかりの校正紙から漂うインクの匂い。鼻をくすぐる香り。懐かし。簡易校正が幅を利かせるデジタルの時代、伝統技法は遺物となりつつある。デジタルのその先へ。餅は餅屋、コンピュータにじっくり相談したい年頭。どこかに良いAI企業ありませんかね? (ひかりのくに代表取締役社長)

油断大敵

児玉 幸彦

昨年、何事も無く予定通りオリピックが開催されていたとたら今春の話題は景気を含めてさぞ明るく賑やかなことだろう。「絶対に売れます」、新企画の単行本はもとより、期待の大きかった雑誌や週刊誌の創刊に賭けた壮大な思い。それが脆くも外れてショックをうけた現役時代! こんな経験を何度も繰り返したが、「コロナ」だけは予想出来なかった。まして危ない老人と言われたくない自粛生活。長生きに辛坊はつきものだ。(出版同代会顧問、元双葉社)

この道一筋に百二十年

岡本 明剛

明治23年に創業した増進堂・受験研究社はお陰様で百三十周年を迎えることができました。明治、大正、昭和、平成、令和と、教育に関する出版一筋に歩んでまいりました。これもひとえに皆様方の温かいご支援・ご協力の賜物と心より感謝を申し上げます。これからも「日本の未来を担う子どもたちの学力向上」を目指し、使命感を持って頑張っています。より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。(増進堂受験研究社代表取締役社長)

年頭所感

近藤 敏貴

新型コロナウイルスは確かに私たちの日常を一変させましたが、「私たちがやるべきこと」自体は変わっていません。この国の豊かな出版文化、書店文化を守る。その使命は不変です。その軸がブレなければ、未来への一歩も力強く踏み出すことが出来ます。まもなく弊社の新本社ビルが完成します。出版流通ネットワークを守り、次世代へと継承していくため、トーンは生まれ変わります。2021年、「REBORN」を象徴する一年とさせていただきます。(トーン代表取締役社長)

背中を押されたDX

寺川 光男

コロナ禍によって、デジタル化の重要性が実感を持って認識されたデジタルトランスフォーメーション。デジタルを使うことだけが目的ではなく、企業の文化や風土を変革することが着地点であるとするその概念。市場や社会の変化に対応した、柔軟で迅速な経営戦略を支えるシステム提供を目指したいと思えます。本年もご指導の程、宜しくお願ひ申し上げます。(光和コンピュータ代表取締役)

希望へチャレンジ!

片桐 隆雄

新年おめでとうござい... 昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、私達の生活や仕事は激変を余儀なくされました。出版界においても、リモートワーク等働き方が変化し、様々な対策に追われて試行錯誤が続いています。しかし、そういった中であっても数々の挑戦、成功が生まれました。今だ予断を許さないコロナ禍ですが、全出版人の「英知」と「思い」を結集して、新しい年が希望の年となるよう、チャレンジです!(マガジンハウス代表取締役社長)

人に会いたい

松田 陽三

新型コロナに翻弄された旧年がようやく明け、無事に新年を迎えられたことが何よりです。コロナ自粛の間も収穫はありました。帰宅時間が早くなり、夫婦仲が改善したかどうかはさておき、読書量は格段に増えました。同じ境遇の方も多かったことでしょう。ただしズーム飲み会はやはり味気なく、すぐに飽きました。今年ではできるだけ多くの方と対面でお会いし、居酒屋で大声を出しつつ談笑できたいと願っております。(中央公論新社代表取締役社長)